

ケアマネ通信おびひろ

第28号

平成 22 年 7 月 13 日発行

帯広市介護支援専門員連絡協議会

発行責任：濱 功之

【目次】

- 1、平成 22 年度帯広市介護支援専門員連絡協議会定期総会（居宅介護支援事業所白樺 笠松 信幸）
- 2、公開講座レポート（地域包括支援センター帯広市社会福祉協議会 米森 洋子）
- 3、研修レポート①（居宅介護支援事業所柳町 小林 知永）
- 4、研修レポート②（通所介護事業所ふるさと 白木 良和）
- 5、新規事業所紹介（介護付有料老人ホームみのり帯広 橋本 則幸）
- 6、ケアマネの輪（ニチイケアセンターみなみの森 村瀬 真貴子）
- 7、癒しのオフタイム（開西在宅ケアセンター 安田 裕貴）



平成22年度 帯広市介護支援専門員連絡協議会定期総会開催



帯広市介護支援専門員連絡協議会

副会長 笠松 信幸

平成 22 年度定期総会が5月 22 日とかちプラザ・レインボーホールで開催され、会員 78 名（他に委任状 37 名）が参加しました。

活動報告と決算が承認され、今年度の事業計画・予算と規約一部改正が積極的な議論を経て決定されました。役員選挙では小関会長はじめ全員が信任されました。

総会には来賓として、十勝総合振興局社会福祉課・柳瀬浩幸主幹、帯広市介護保険課・鈴木昭文課長が出席されました。柳瀬主幹は「資格更新もれでケアマネ資格剥奪の事例が起きている。各自更新を忘れずしてほしい」、鈴木課長は「認定方式変更で大変な1年だったが、今後もケアマネの皆さんと一緒に高齢者支援をすすめたい」とそれぞれ期待を込めたご挨拶を頂きました。

小関会長は開会挨拶で「今年から診療報酬でケアマネ連携が点数化された。医療と介護の連携が一層重視されている。2年後の介護保険法改正にむけ日本協会・北海道協会と連携し現場の声を反映した制度を求めている」と強調、「会員は約 200 名（準会員含め）になった。引き続き研修会・学習会等で研鑽・交流し、質の高いケアマネジャーになろう」と呼びかけました。

総会時の会員数は 198 名（正準会員）。北海道介護支援専門員協会の会員は十勝地区 36 名（うち帯広連協会員 18 名）です。



平成 22 年度新役員

会長：小関 純一（小関内科医院）
副会長：笠松 信幸（居宅白樺）
後藤 和子（厚生訪看居宅）
幹事
研修部：渡辺 こづ江（包括愛仁園）
小林 知永（居宅柳町）
白木 良和（ふるさとデイサービス）
吉田 元（GH ほほえみ）
総務部：濱 功之（あんさんぶる川北）
藤原 恭子（包括帯広社協）
佐藤 篤史（居宅ピリープ）
監査：荒 浩美（居宅開西）
早丸 由美子（居宅向日葵）



●●公開講座レポート●●

【質問力で伸ばすコミュニケーション技術】

地域包括支援センター帯広市社会福祉協議会

米森 洋子

平成22年5月22日、定期総会後に公開講座が開催され、『「質問力」で伸ばすコミュニケーション技術』と題した、ケアタウン総合研究所の高室成幸氏の講演を聴かせていただきました。

自分が仕事をしていく中で、まず初めに必要な「相手を知る」ための質問。普段の自分の対応は、相手に不安や不信感を与えていないのか？と考えさせられました。

なぜこの質問をするのか・・・という事を十分理解してもらった上で聞き出していく・・・相手が話をしやすいような姿勢、環境を大切にすることという事を改めて確認するきっかけとなりました。

相手の五感と自分の五感を大事に、先生の言う「個別性」を見つけ出して、必要な情報をその利用者にかかわる周りの人達に伝えていく事が、私達に求められているのだと理解できました。

先生がおっしゃった「利用者と、ゆっくり膝を付け合わせて話を聞けるのはあなた達（ケアマネ）だけ」という言葉に自信を持ちながら、利用者の表情や声の音色を敏感に感じ取っていけたらと思います。



●●研修レポート①●●

【全道ケアマネ研修交流会に参加して】

指定居宅介護支援事業所柳町

小林 知永

H22年5月29日、朝から久しぶりの青空の下、全道ケアマネ研修交流会参加のため小樽に向かいました。はじめにノンフィクション作家の沖藤典子先生に「介護は老いを守るか～どう変わる・どう変える介護保険～」と題し講演して頂きました。

まずこの10年間で日本の人口動態と高齢者の推移、世帯数や家族構成の変化、介護保険の動向や保険料の推移を表やグラフで振り返りました。2004年をピークに日本人口は減少し、現在はスウェーデンより高齢化比率が高いこと、近年は独居や夫婦のみの世帯など世帯類型も複雑化したと特徴を話されました。時代背景も影響し、介護保険の認定者数も多くなりましたが、後半5年間の適正化では散歩や院内介助、家族同居の援助が規制され、軽度者の保険外しの動きもあります。先生は現在の高齢者世代は「岸壁の母・靖国の母」と呼ばれた戦争未亡人、お国で見送りをするべきと話した上で介護保険にある福祉の位置づけを忘れてはいけないと指摘しました。今、都心部では胃ろう専門の高専賃マンションが出来、スポーツクラブに70歳以上の方が通っているそうです。介護や老後が営利目的や偏った自己管理になるのではという危機感や疑問も感じました。

介護保険は再来年医療と同時改正となります。私達ケアマネジャーに先生は、利用者側の立場に立って闘う・逃げないケアマネジャーであってほしい、命綱になってほしいと投げかけました。先生の理想のケアマネジャー像は、きちんと観察し、励ましメッセージやワンポイントアドバイスで本人・家族の気づきになるケアプランを作れる人。矛盾や課題は多い制度ですが、どの人にも優しい福祉・社会保障になるよう、一人のケアマネジャーとして自分も学び

続けなくてはと思いました。その後のDVD研修は途中までしか参加できませんでしたが、貴重な研修に参加させて頂きました。会場ホテルからは青い海も見え、リフレッシュも出来ました。今度行く機会があればウィングベイの大きな観覧車に乗ってみたいです。ありがとうございました。



『ケアプランと「サービス計画」「施設ケア」との連携』セミナーに参加して

通所介護事業所ふるさと

白木 良和



H22年6月13日札幌市にて、講師 高室成幸氏による『ケアプランと「サービス計画」「施設ケア」との連携』についてのセミナーに参加させていただきました。

今回はケアプランだけではなく各サービス計画書の課題も含めての連携が大きなテーマでしたので日頃ケアプランを作成する立場ではないのですが通所介護計画とどう連携を図ることが大切なのか、またプランだけではなくアセスメント、モニタリングなどそれぞれのポイントを学ばせていただきました。

まず、連携を図る上でケアマネジメントをしっかりと理解して実践することが大切と良く言われますが、現場に即したケアマネジメントを重視しているという高室氏より、我々は疾病から見るのではなく、介護スタイル(生活スタイル)から考えることが大切であるとのことでした。

「脳梗塞(左マヒ)なので、調理ができない。そのため訪問介護が必要」ではなく「その人は現在何ができるのか、どれくらいできているか、どう生活していきたいのか。」を具体的に表して、よくよく聞けば調理がしたいというニーズがあり、そうなれば訪問介護ではなく通所リハなどで、調理訓練をする。」という未来形を基本にして考えることが重要であるとのこと。(つまり、従来の障がいモデル(ICIDH)だけではなく、ICFを捉えているかということですね。)

また、現状の課題としてケアプランもサービス計画書もパターン化されており、その原因としてアセスメント不足、モニタリング不足、曖昧な言葉を使っているなど、耳が痛く大変厳しいお言葉を頂く事もありました。

これらがサービスの質を低下させる背景となっているとのことで、大切なポイントとしては、本や人の話などはあくまでも参考として捉えて、自分で言葉でも何でも考える力をつけることが重要とのことでした。その他、書ききれませんので一部だけ紹介します。

- ・認知症になる前に、センター方式によるなじみの関係や人間関係などを元気なうちから聞いておくことが良い。
- ・客観的に批判的に考える事(非難することではなく、何が良くて何が悪いかということ)
- ・利用者様のお話を30分でも1時間でも聞けるのはケアマネジャーにしかできないこと。
- ・ケアプラン第3表の週間計画表には家族支援や趣味活動、社会的役割など細かく記載すると一目で分かりやすいので、Drなどから大変重宝される(退院計画が作りやすい)などメリットが高い。
- ・ご家族などの携帯電話などのメールアドレスを第1表の緊急時の連絡先と一緒に記載して、メールのやり取りを是非取り入れて欲しい。(サービス担当者会議の日程調整の連絡など、東京では常識であるとのこと。)

今回のセミナーでは、良い記載例、悪い記載例など具体的な事例を含めてのものもあり、改めて再確認できたことも多かったです。(分かっているつもりだったけど、「ま、いっか!」で済ましていた自分がいました…ダメですね。)

とにかく、当日は時間がなくて「よさこいソーラン」が見られなかったのが残念!ではなくて、ケアマネさんと今後も連携させていただきながら、利用者様に信頼していただけるようもっともっと努力が必要だなあと実感いたしました。



写真はイメージです。

NEW事業所紹介

介護付有料老人ホーム みのり帯広



こんにちは。「介護付有料老人ホーム みのり帯広」施設ケアマネジャーの橋本です。「介護付有料老人ホーム みのり帯広」は平成22年5月10日に帯広市東3条南12丁目にオープン致しました。介護付有料老人ホームみのり帯広は「株式会社アクティブ・ケア」が運営しております。札幌を中心に全国に介護事業を展開している会社です。介護付有料老人ホームも札幌や旭川・函館に展開しており、「みのり帯広」が9施設目となります。

「みのり帯広」は3階建て、定員は48名です。2階3階が居室スペースとなっており、1人部屋44室、2人部屋2室ございます。各階に配置された職員が、食事・排泄・入浴などの介護はもちろん、掃除、洗濯、シーツ交換などの日常生活のお手伝いをさせていただきます。1階には入居者様が集って食事を楽しんでいただく「食堂スペース」や、2種類の人工泉質を身体状況に合わせてお楽しみいただける「一般浴室」、また、車いす対応の機械浴「ウィラーバス」を備えております。その他、身体状況に合わせて運動機会を提供する「機能訓練スペース」、入居者様のニーズに柔軟に対応する「理美容スペース」などの共有スペースがございます。

その他にも、外部委託ではなく自社の調理師がまごころを込めて提供するお食事や、入居者様と一緒に楽しむ元気あふれる体操やレクリエーション、外出行事などなど、お伝えしたい私共の想いが山ほどございます。しかし、実際にみのり帯広に「来て」「見て」「感じて」いただければと思います。

いつでもご見学・お問い合わせは可能ですので、おもてなしの心あふれる「みのり帯広」に是非、一度足を運んでみてください。職員一同お待ちしております。(橋本 則幸)

<http://www.actg.co.jp/minori/jyutaku/r-home1.html>

ケアマネの輪・和・話

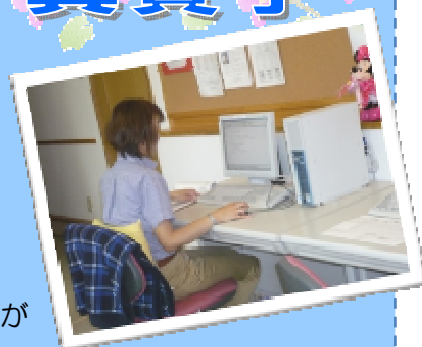
ニチイケアセンターみなみの森

村瀬 真貴子

皆様、初めまして。昨年9月までニチイケアセンター帯広に勤務し、事業所の分割に伴い10月より、みなみの森へ移動となりました村瀬真貴子です。これまで、特養に10年間、デイサービスに5年間勤務させていただき、ケアマネの仕事始めてから、月日のたつのは早く4年余りの時が過ぎようとしています。社会人1年生からの10年間は、人生の大先輩である入所者の方々の貴重な時間に添いつつ、共に過ごせる喜びや楽しみを持ちながら仕事につかせていただく事ができ、上司や同僚に見守っていただき、サポートしていただいたおかげで今もこの仕事を続けていく事ができていると、感謝の気持ちをもって日々の仕事に取り組んでいます。

ケアマネとしては、知識・経験も浅く、未だに分からない事も多く、みなみの森のセンター長や同僚、ニチイケアセンター帯広、帯広東の先輩ケアマネより助言やアドバイスをいただきながら毎日乗り越えています。多様化する介護保険制度、一人一人の「思い」や「願い」をどのようにしたら、自立した在宅生活に繋げていく事ができるのか・・・ご本人が望む生活に一步步近づけるよう、ケアマネジャーとしての役割をしっかりと考え、肩に力を入れすぎに頑張りたいと思います。会の皆様には今後もお力をお借りする事が多々あると思いますが、ご指導いただけますよう宜しくお願い致します。みなみの森の近くへ起こしの際には、ぜひお立ち寄りください。

パソコンにはめっきり弱く、日々苦戦の毎日です(笑)



癒しのオフタイム

関西在宅ケアセンター

安田 裕貴

趣味とは？：人間が自由時間（生理的・必要時間と労働時間を除いた時間、余暇）に、好んで習慣的に繰り返しおこなう事柄やその対象のこと。※Wikipedia より

この『自分流・癒しのオフタイム』の原稿依頼があった際、「自分は多趣味だから簡単♪」なんて思っていたのですが…いざ改めて自分の趣味を考えてみたところ、皆さんに何をお伝えすればよいのか…

昔から、流行物にはすぐに飛びつくタイプで、色んなことを趣味として行ってきました。幼稚園のころはサッカー漫画の「キャプテン翼」

に憧れてサッカーを初め、小学校の頃は野球漫画の「タッチ」に憧れて野球を。学生時代はカラオケやショッピングに没頭し、特に靴が好きで家の下駄箱に入らないくらいなのです。野球は

30歳になった今でも続け、毎週1回の練習、週末の試合、公式戦は朝野球なので朝3:30に起きてプレーしています。（最近は思うように身体が動かず、年齢を感じています…）その他にも冬はスノーボード、去年から始めたゴルフなどスポーツを趣味としています。しかも格好から入るタイプなのでお金がかかって大変です！

その他「人間が自由時間に、好んで習慣的に繰り返しおこなう事柄やその対象のこと」と言えば、僕はお酒が大好きで、毎週金・土曜日は繰り返し街へ繰り出し飲み歩いています。お酒の味を楽しんでいるというよりは、宴の席の雰囲気大好きなので、つい調子に乗って騒ぎすぎてしまいます f(^_^) こんな感じでお金のかかる趣味ばかりなので大変なのですが、一度きりの人生なので、自分の好きなことを精一杯やって、これからも色んなことにチャレンジしていきたいと考えています♪ 皆様の中で、変わったご趣味をお持ちの方はぜひ誘ってくださいね♪すぐ飛びついちゃいますので～（笑）



スポーツ漫画ランキング

1位：H2

2位：スラムダンク

3位：ホイッスル

※タッチ、キャプテン翼は殿堂入り！



大好きな靴たちです！



若かりし頃の勲章です！



W杯を見ながらのお酒は最高！

【介護支援専門員連絡協議会からのお願い】

★連絡先や勤務先が変わったり、苗字が変更になった場合HPにある「入退会・変更届出書」の書式を活用して速やかに届け出てください。

★メールアドレスの登録について、各事業所や会員へのメール配信については、今後それぞれの希望を確認した上での対応とさせていただきますので、メールアドレスの登録についてのご協力をお願い致します。

★新規入会は随時受け付けています。入会申込書はホームページから入手できますので詳細については事務局にお問い合わせ下さい。

（事務局 帯広市社会福祉協議会 藤原）

＝ 編集後記 ＝

この度、ケアマネ通信の編集長という大役を仰せつかりました「えっち」です。どうぞよろしくお願い致します。

私は、歴代の編集長のような豊富な知識、経験、ボキャブラリー、センスなど持ちあわせておりませんが、下心だけは負けないと思っております。「下心があればなんでもできる」をモットーに頑張りますので、この欄を読まれているマニアックな皆様、どうぞよろしくお願い致します(°▽°)。

編集長えっち